



予防接種はお早めに

健康・保険課 保健予防係 ☎(232)4912

お子さんの予防接種はお早めに

麻疹や風疹は、春から夏にかけて流行します。できるだけ早く免疫を獲得するため、4月から6月の間に予防接種を受けることが大切です。小学6年生はジフテリア・破傷風(DT)二種混合を接種しましょう。

種類	対象者	接種期間	費用	接種場所
麻疹・風疹混合(MR) ・麻疹は感染力が強く、かかると約千人に1人の割合で脳炎を発症することがあります。 ・風疹は妊婦が妊娠初期にかかると、胎児に感染し、心臓病や難聴などを引き起こす場合があります。	第1期 1歳～2歳の誕生日前日	1歳～2歳の誕生日前日	無料	令和4年度予防接種だよりに掲載 対象者には、4月上旬に予診票と指定医療機関一覧表を送付します
	第2期 小学校入学前の1年間 (平成28年4月2日～平成29年4月1日生まれ)	4月1日～令和5年3月31日		
ジフテリア・破傷風(DT)二種混合 ・乳幼児期に受けた三種混合(ジフテリア・百日ぜき・破傷風)予防接種の追加接種です。	小学6年生 (令和4年度)			

成人用(高齢者)肺炎球菌ワクチン接種の費用を一部助成

肺炎球菌は、主に気道の分びつ物に含まれる細菌です。だ液などから飛まつ感染し、肺炎や気管支炎、敗血症などの重い合併症を引き起こすことがあります。肺炎は日本の死亡原因の第5位で、細菌によって生じる肺炎のうち、約30%は肺炎球菌が原因と考えられています。

■自己負担額 3,200円

■医療機関へ持っていくもの

案内通知/保険証など住所が確認できるもの

■令和4年度の対象者

次の①または②に該当し、過去に一度も成人用肺炎球菌ワクチン接種を受けたことがない人

①令和4年度に、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる人(下表参照)

②60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓呼吸器の機能の障害またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいがある人

■接種場所 対象者に送付する案内通知に同封の町指定医療機関一覧から選んでください。

■令和4年度(2022年度)の対象者

予防接種名	対象年齢	生年月日	回数
成人用(高齢者)肺炎球菌ワクチン	65歳	昭和32年4月2日～昭和33年4月1日生まれ	1回
	70歳	昭和27年4月2日～昭和28年4月1日生まれ	
	75歳	昭和22年4月2日～昭和23年4月1日生まれ	
	80歳	昭和17年4月2日～昭和18年4月1日生まれ	
	85歳	昭和12年4月2日～昭和13年4月1日生まれ	
	90歳	昭和7年4月2日～昭和8年4月1日生まれ	
	95歳	昭和2年4月2日～昭和3年4月1日生まれ	
	100歳	大正11年4月2日～大正12年4月1日生まれ	

新型コロナワクチン接種情報 (3月16日時点)

菊陽町新型コロナワクチンコールセンター
☎(234)7077

詳しくはこちら→



3月下旬から、5歳から11歳の子どもへの接種を開始しました。最新の情報は、町ホームページでご確認ください(ページ右上のQRコードからアクセスできます)。

小児(5歳～11歳)の接種を開始しました

対象者には、3月に接種券などを送付しています。案内通知をよく読んで、ワクチンを受けるか、お子様と一緒にご検討ください。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただき、保護者の意思に基づいて接種を判断してください。

お子様のワクチン接種には、保護者の同意と立ち合いが必要です。保護者の同意なく、接種が行われることはありません。

■対象者 原則、菊陽町内に住民登録のある5歳から11歳の人(接種日時点)。国籍は問いません。

■使用するワクチン

ワクチンの種類	回数	1回目と2回目の接種間隔
ファイザー社製小児用ワクチン	2回	3週間

※12歳以上用のファイザー社製ワクチンとは異なるワクチンです。

※1回あたりの接種量は0.2ml(12歳以上用と比べ、有効成分は3分の1)です。

※1回目の接種時に11歳だった人が、2回目の接種までに12歳の誕生日を迎えた場合は2回目接種にも小児用ファイザーワクチンを接種します。

注意

- 他の予防接種を、新型コロナワクチンと同時に接種することはできません。
- 新型コロナワクチン接種の前後2週間は、他の予防接種はできません。

Q & A

Q. 小児(5～11歳)の接種にはどのような副反応がありますか。

A. 12歳以上と同様、接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱など、さまざまな症状が確認されていますが、ほとんどが軽度または中等度であり回復していること、現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められていないと判断されています。

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労
10～50%	頭痛、注射した部分の発赤や腫れ、筋肉痛、悪寒
1～10%	下痢、発熱、関節痛、嘔吐

出典：厚生労働省ホームページ
(注)接種後7日間にみられたさまざまな症状(1回目または2回目のいずれか)

追加接種(3回目)を順次案内しています

2回目接種から6カ月経過した、18歳以上の人が対象です。予約は随時受け付けています。

1・2回目の接種について

12歳以上の人の初回接種(1・2回目)を、医療機関で行っています。日程などは、町ホームページでご確認ください。